

長野県の金融経済動向

(2024年4月1日)

【概況】

長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は弱めの動きとなっている。雇用・所得は持ち直している。

企業の業況感は、幾分悪化している。

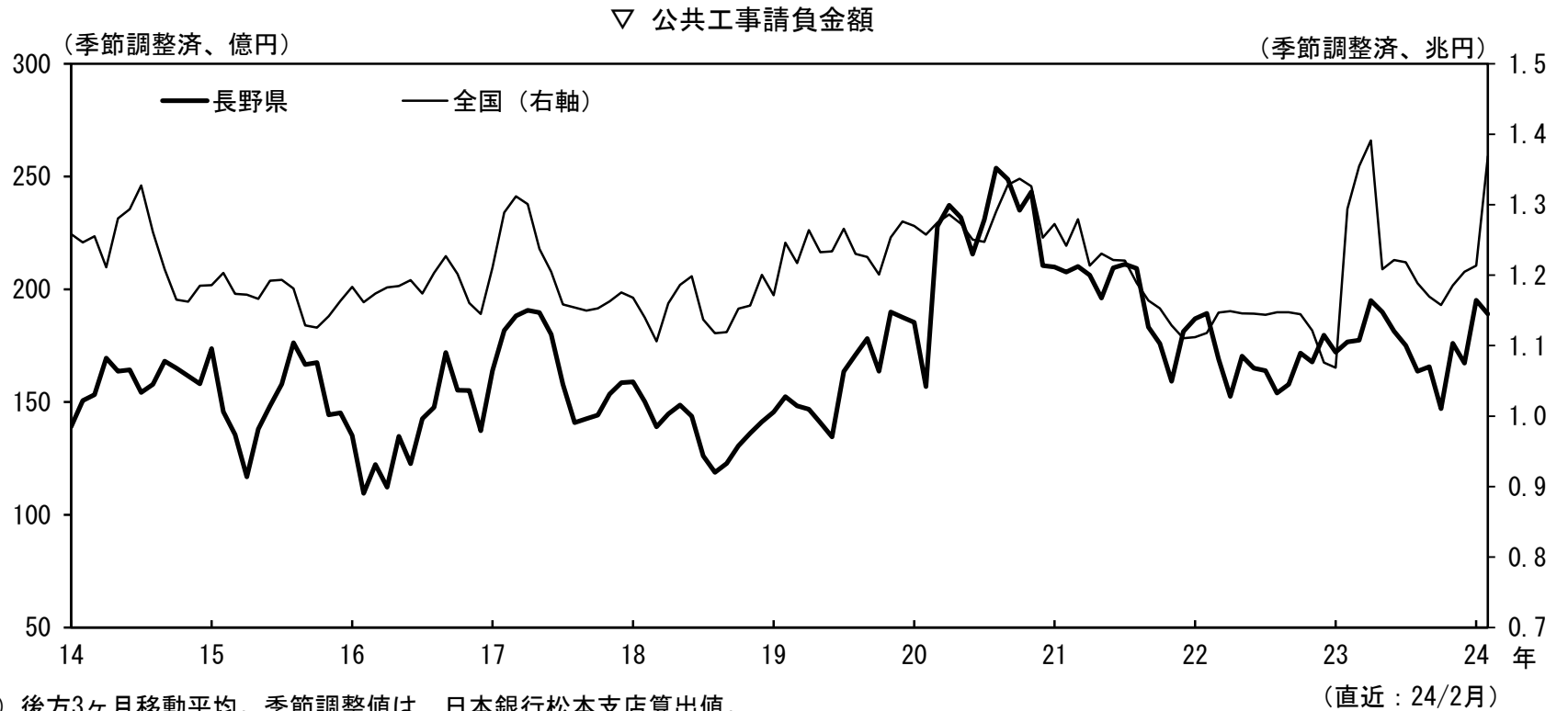
【前回からの変化】

| 24/3月 | 24/4月 |
|--|---|
| <p>長野県経済は持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・個人消費は緩やかに増加している。 <p>・住宅投資は弱めの動きとなっている。</p> <p>・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>・生産は横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>・雇用・所得は持ち直している。</p> | <p><u>長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。</u></p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・<u>個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している。</u> <p>・住宅投資は弱めの動きとなっている。</p> <p>・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>・<u>生産は弱めの動きとなっている。</u></p> <p>・雇用・所得は持ち直している。</p> |

1. 実体経済

公共投資

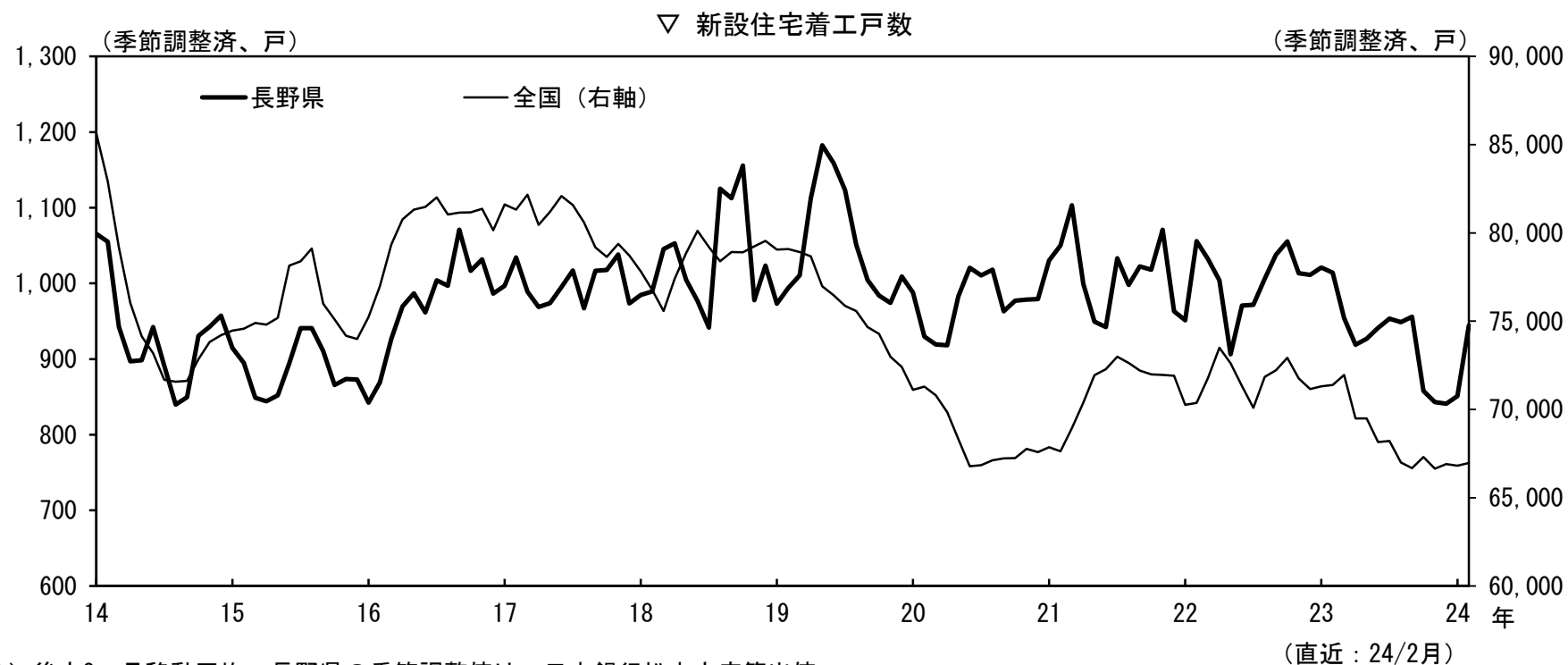
公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。



1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱めの動きとなっている。



1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、24年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、24年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、24年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|------|------------|------------|
| 製造業 | 48.7 | - 2.9 |
| 非製造業 | 10.1 | 46.2 |
| 全産業 | 44.1 | 1.6 |

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|-----|------------|------------|
| 製造業 | - 4.0 | 1.1 |

▽ 経常利益

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|------|------------|------------|
| 製造業 | - 16.6 | - 1.5 |
| 非製造業 | - 1.6 | - 3.9 |
| 全産業 | - 14.5 | - 1.9 |

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|------|------------|------------|
| 製造業 | 9.4 | 8.2 |
| 非製造業 | 11.6 | 0.5 |
| 全産業 | 10.7 | 3.3 |

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|--------------|------------|------------|
| 製造業 <大企業> | 2.3 | 1.0 |

▽ 経常利益

(前年度比、%)

| | 23年度 見込 | 24年度 計画 |
|------|------------|------------|
| 製造業 | 6.3 | - 3.7 |
| 非製造業 | 7.4 | - 2.5 |
| 全産業 | 6.9 | - 3.0 |

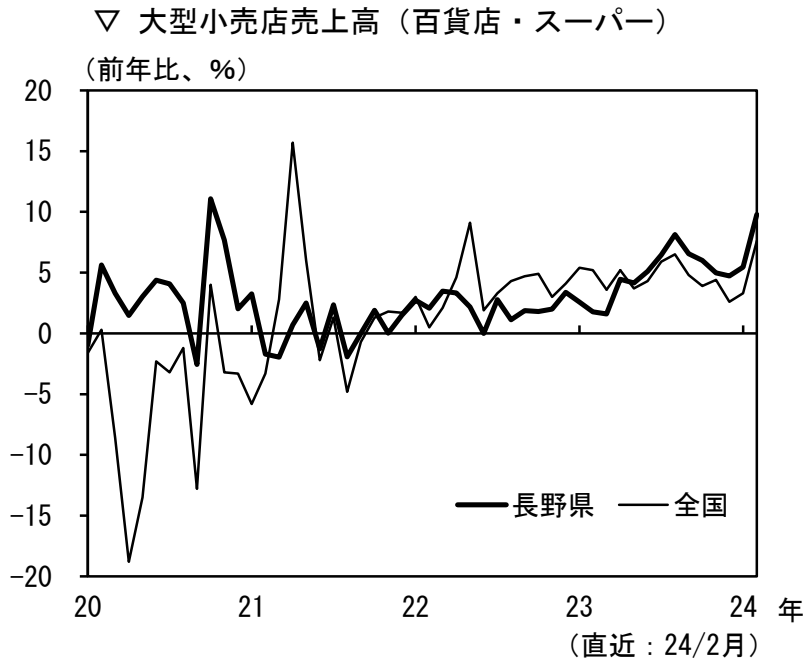
(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(24/3月)」

1. 実体経済

個人消費

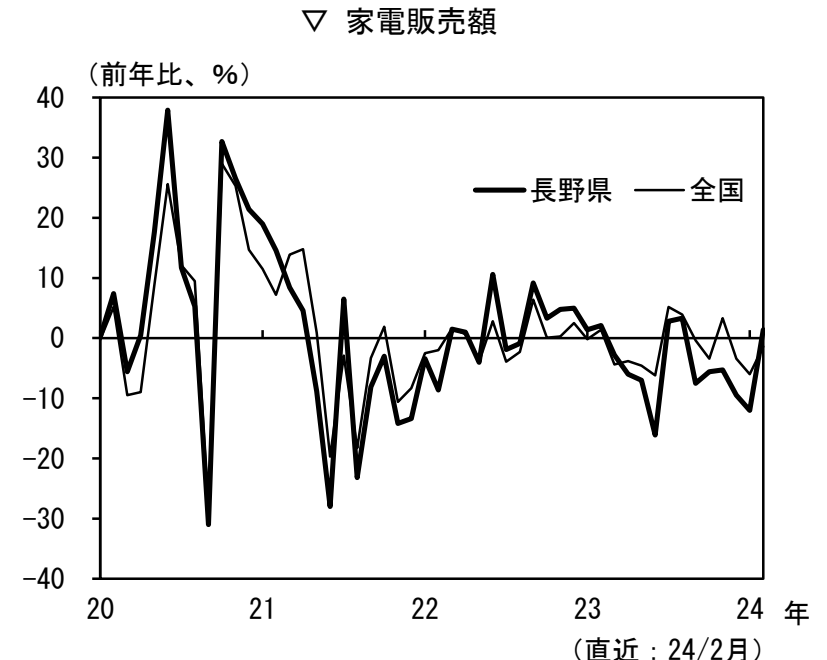
個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している。

県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は緩やかに増加している。家電販売額は弱めの動きとなっている。新車登録台数は減少している。サービス消費は緩やかに回復している。



（注） 全国は、商業動態統計の年間補正に伴い、過去のデータが遡及改定。

（出所） 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

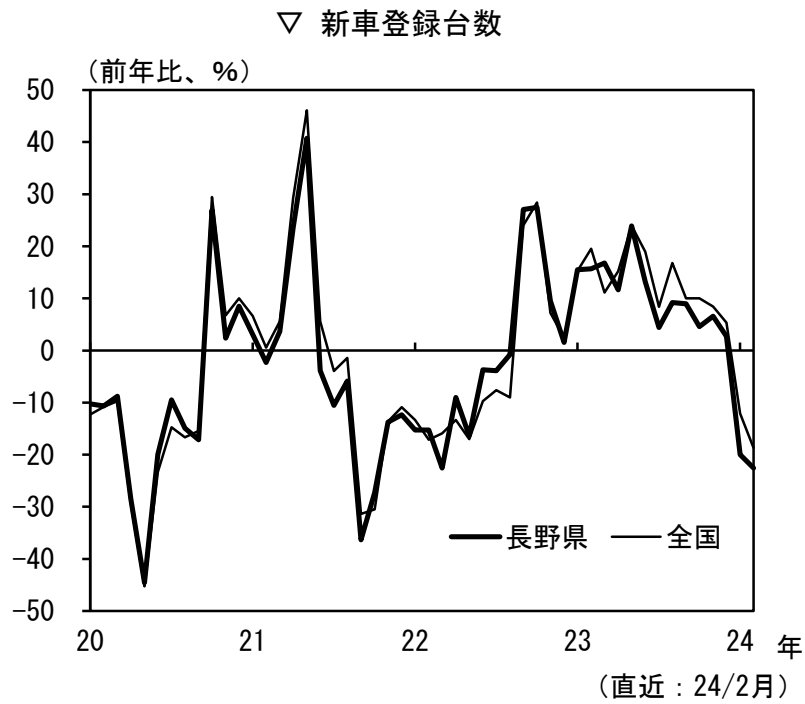


（注） 商業動態統計の年間補正に伴い、過去のデータが遡及改定。

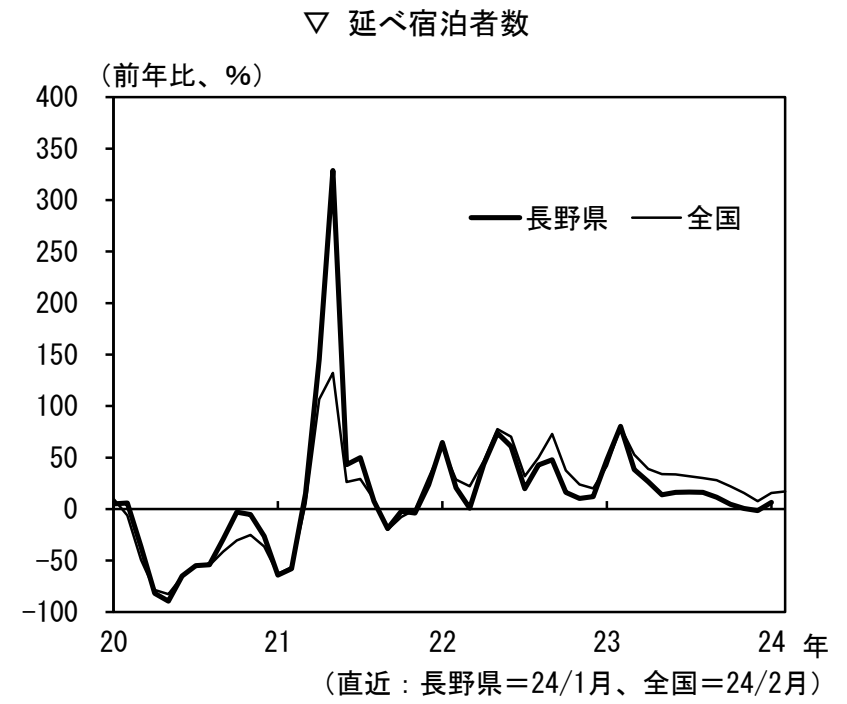
（出所） 経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

個人消費



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

1. 実体経済

生産

生産は弱めの動きとなっている。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(注) 長野県は、今回より20年基準に変更。
(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

(直近：長野県=24/1月、全国=24/2月)

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等は弱めの動きとなっている。

自動車関連は弱めの動きとなっている。

機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。

飲料は横ばい圏内の動きとなっている。

【前回からの変化】

| 24/3月 | 24/4月 |
|--|--|
| <p>半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。</p> <p>自動車関連は増加している。</p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は横ばい圏内の動きとなっている。</p> | <p><u>半導体関連・電子部品等は弱めの動きとなっている。</u></p> <p><u>自動車関連は弱めの動きとなっている。</u></p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は横ばい圏内の動きとなっている。</p> |

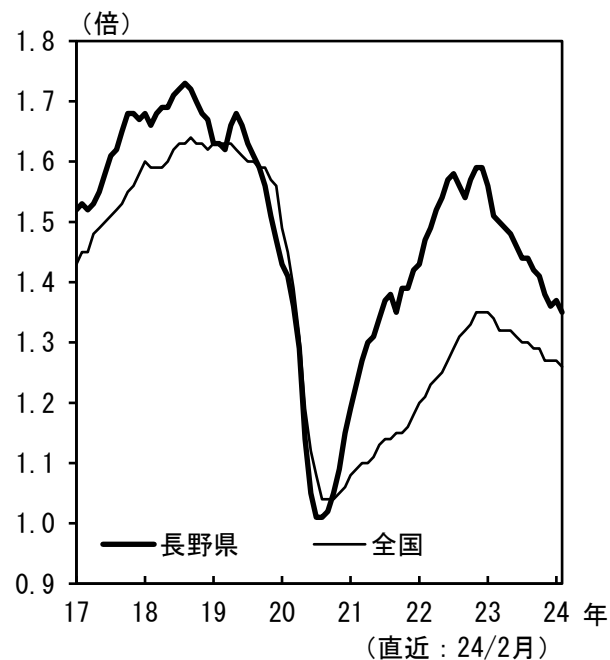
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は持ち直している。

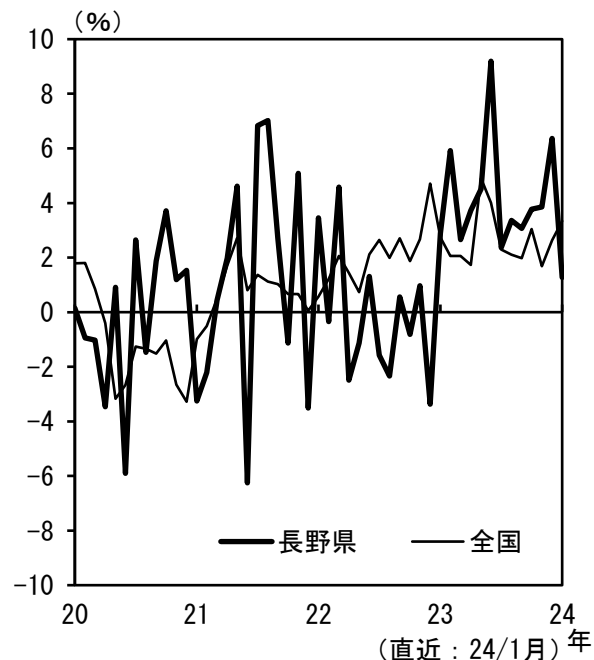
有効求人倍率は、下げ止まりつつある。雇用者所得および就業者数は、前年を上回っている。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。
長野県は、過去のデータを遡及改定。
(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

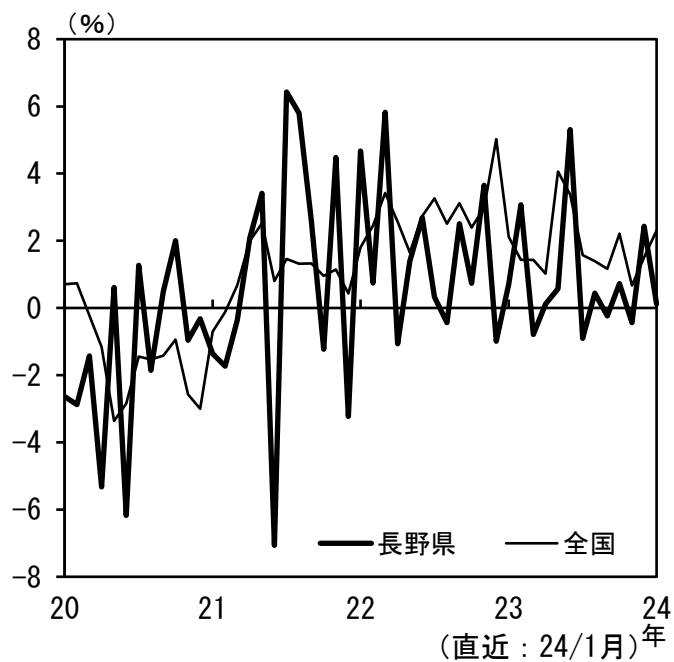


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

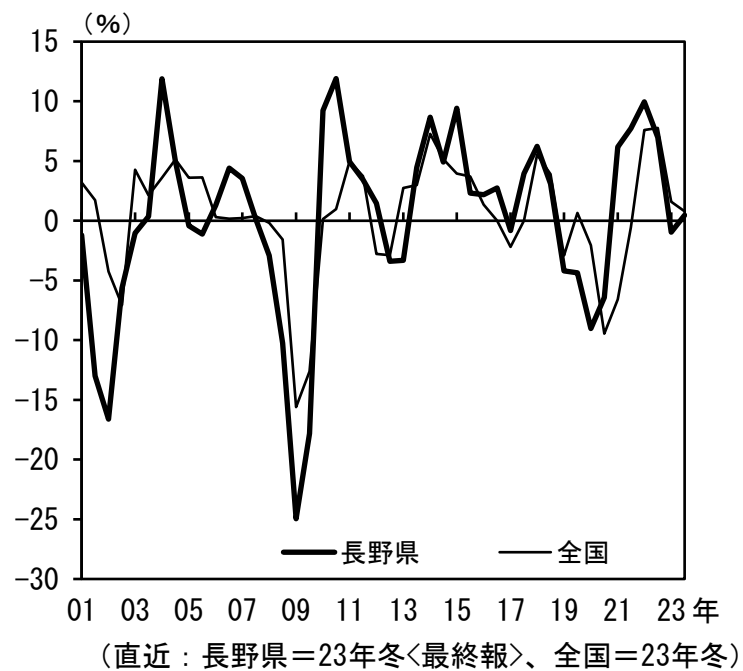
雇用・所得

▽ 名目賃金（前年比）



(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

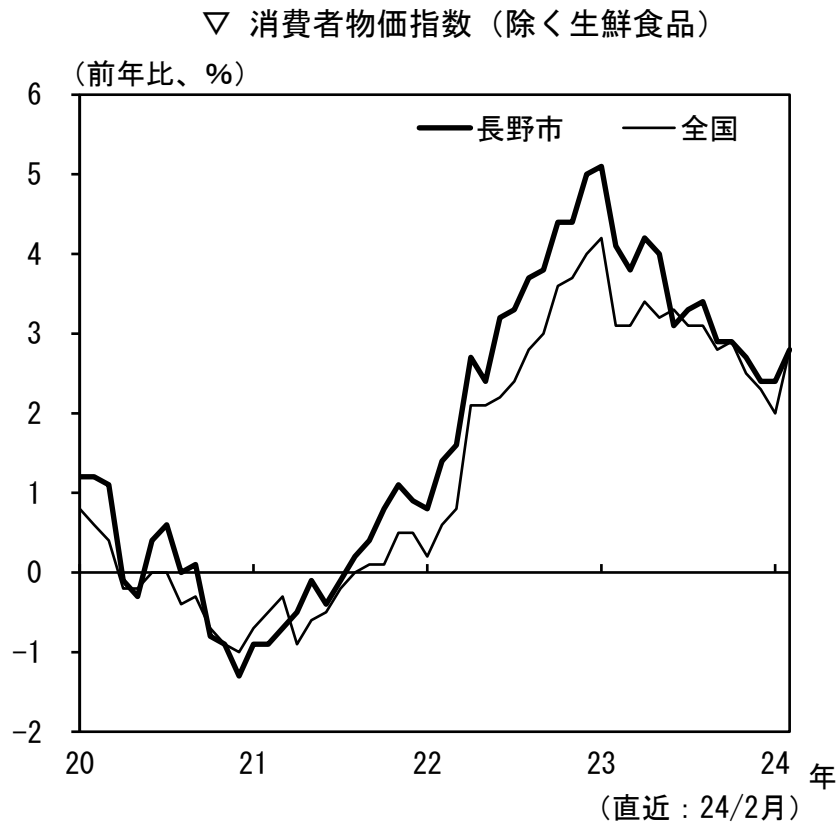


(出所) 長野県：長野県
 「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

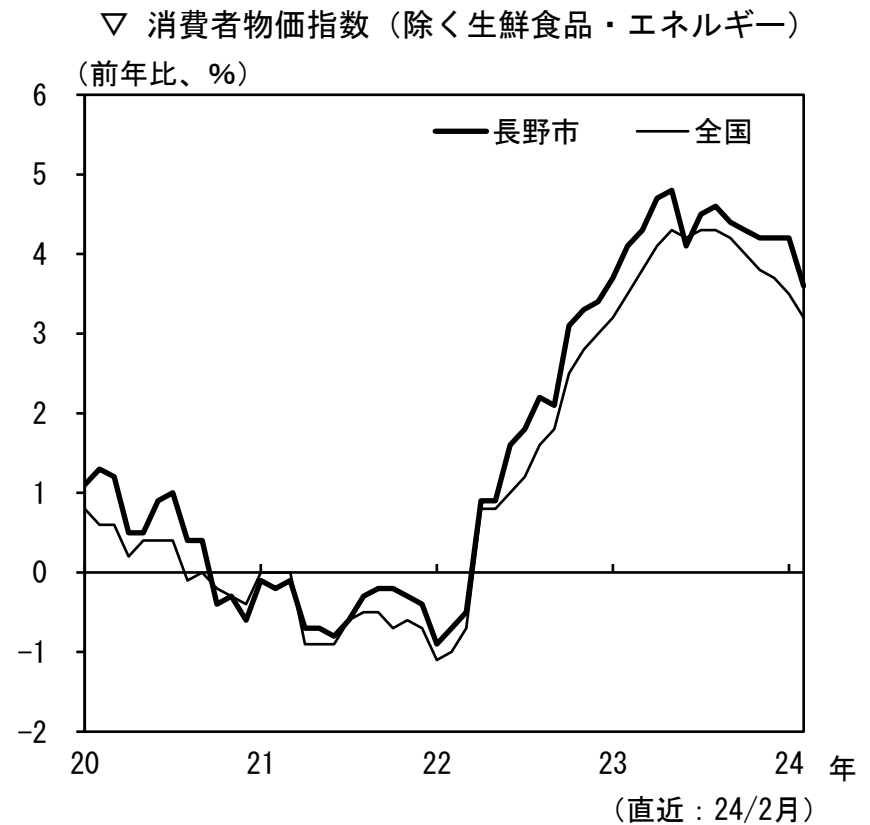
1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、24/2月は前年を上回っている。



（出所）総務省、長野県



（出所）総務省、長野県

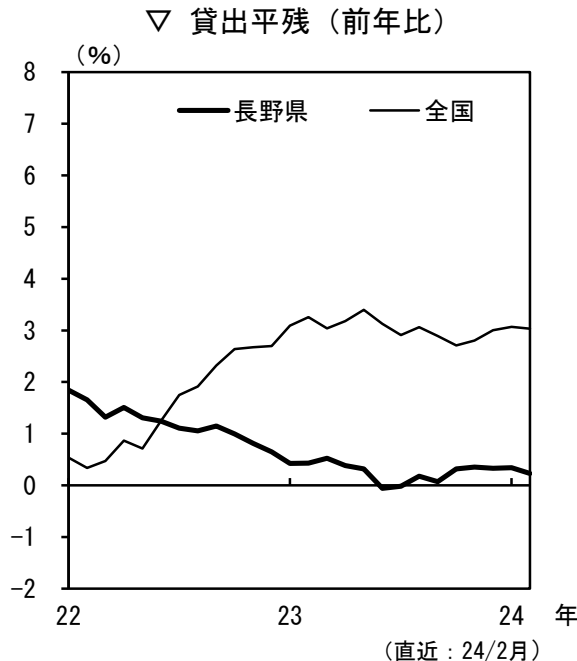
2. 金融

貸出金・預金

貸出残高は、個人向けの増加により、前年比で0%台前半のプラスとなっている。

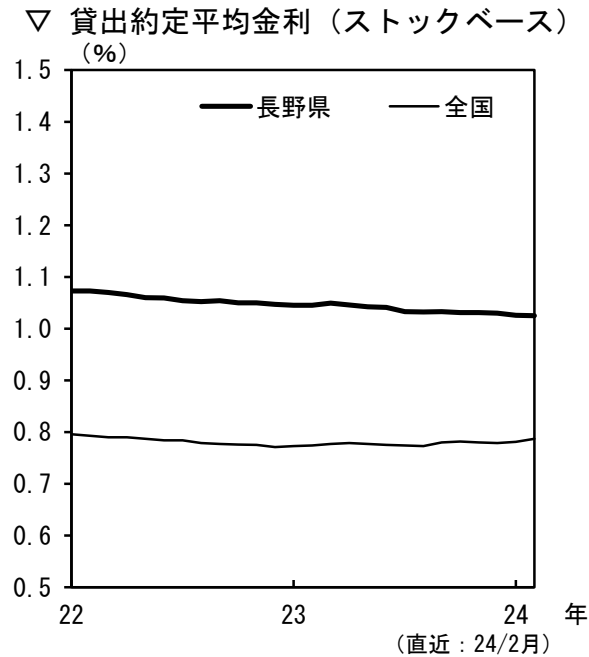
貸出約定平均金利は、横ばい圏内で推移している。

預金残高は、個人預金の増加により、前年比で2%台のプラスとなっている。



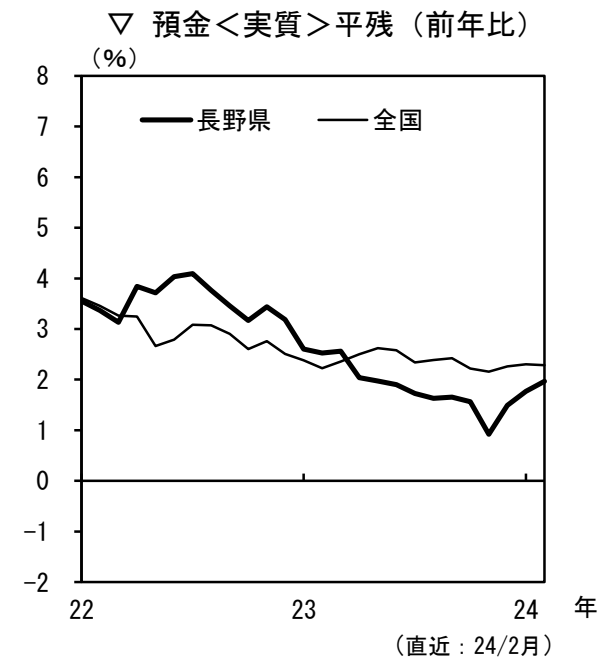
（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。
「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+①）。
・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行